

学習課題(中学校3年生)



【国語】

<学習内容> 「誰かの代わりに」

○教科書「誰かの代わりに」(P166～170) を論の展開や表現の工夫に着目しながら読み、「『誰かの代わりに』から考える私の生き方」というテーマで自分の考えを表現してみよう。

<取り組み方>

- (1) 教科書「誰かの代わりに」(P166～170) を音読してみよう。
- (2) 本文の18個の段落を3つのまとまりに分け、文中の言葉を使って、それぞれのまとまりに小見出しをつけてみよう。
- (3) 「自分とは何か」と問われる現代の社会を生きていくうえで、筆者が「危うい」(P167) と考えていることはどのようなことだろうか。
 - ・「無条件の肯定」(P167・10行目) とは、どのようなことを指すのだろうか。
 - ・「無条件の肯定」によって、どのように危うくなるのだろうか。
- (4) 筆者は、「自立」とはどのようなものであると考えているだろうか。「インディペンデンス」と「インターディペンデンス」という英語の紹介の仕方に着目しながら考えてみよう。
- (5) 筆者は、「責任を負う」の本来の意味はどのようなものだと考えているだろうか。「リスポンシビリティ」という英語の紹介の仕方に着目しながら考えてみよう。
- (6) 題名「誰かの代わりに」について考えてみよう。
 - ・「誰かの代わりに」とは、どのように「用意」することなのだろうか。
 - ・「自分とは何か」という問いに対する答えを探し出すために、「誰かの代わりに」という意識がなぜ必要なのだろうか。
- (7) (1)～(6)で考えたことを踏まえて、「『誰かの代わりに』から考える私の生き方」というテーマで自分の考えを文章で表現してみよう。

(例) 立場は？ (私は、筆者の考えに共感しました。納得しました。疑問を覚えました。 など)

本文との関連は？ (P〇の□□という表現から～、筆者はP〇で◇◇と述べていますが～ など)

結論は？ (私は、この文章を読んで〇〇と考えました。 など)